ユーザーズマニュアル
Ver. 3.0J

iAUDIO U2

一般

- iAUDIOはCOWON SYSTEMS, Inc.の登録商標です。
- 本製品は家庭用で、営業目的で利用することはできません。
- 本マニュアルは著作権 COWON SYSTEMS, Inc.が全ての著作権を所有しており、本マニュアルの1部分または全部を無断で配布することは許可していません。
- JetShell、JetAudioのMP3変換機能を利用して生産したMP3ファイルは、個人的用途ではない商業的目的やサービスのために使用することはできず、これに違反した場合は各国の著作権法に抵触します。
- COWON SYSTEMS, Inc.は音盤/ビデオ/ゲーム関連法令を遵守しています。これ以外の一切の成文化された関係法令を遵守することは、実際のユーザーの責任です。
- 製品をお買い求めになったユーザーが特化されたiAUDIOだけのサービスの提供を受けるためには、www.cowonjapan.com にてオンラインユーザー登録をすることをお勧めします。技術サポート、修理、アップデート情報など正式ユーザー登録を済ませたユーザーにのみ提供される各種の特化された特典を受けることができます。
- 本マニュアルに記載された各種設定/使用方法及び図表、写真は、製品の改善等によって予告なく変更されることがあります。

BBE関連

- BBE Sound,Inc.のライセンスによって生産されます。
- USP4638258、5510752及び5736897に基づいて、BBE Sound,Incがライセンス権を保有しています。
- BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound,Incの登録商標です。

iAUDIO
COLOR SOUND
iAUDIO Mania
Enjoy color sound
DIGITAL AUDIO PLAYER

iAUDIO U2

製品使用時の注意事項

ユーザーズマニュアルに記載されている事項以外の他の目的で製品を使用しないでください。

梱包箱類、ユーザーズマニュアル、付属品をさわる場合、手を切らないように注意してください。

機器を水に浸したり、湿気の多い場所に長時間保管しないでください。浸水による故障として分類された場合は、保証期間内であっても無償修理サービスを受けることはできません。また有償でも修理サービスができない場合や、全く使用できない場合もあります。

機器を任意で分解または改造すると、無償修理サービスを受けることはできず、サービス範囲から除外されます。

USBケーブルをパソコン及び機器に差し込む場合、方向にご注意ください。
USBケーブルを逆に差し込むと、パソコンまたは機器が破損したりする恐れがあります。
USB接続ケーブルを無理に曲げたり、重い物が載った状態で使用しないようにしてください。

使用中、機器から焦げるにおいがしたり、熱がひどく発生したりする場合はすぐに使用を止め、バーテックス リンクのコウォンジャパンサポートセンターにお問い合わせください。

※本体の保管時、暑すぎる場所や寒すぎる場所に保管すると、外観が変形したり、本体内部の損傷または液晶が表示できなくなる場合があります。

濡れた手で機器を使用すると、誤動作が生じる場合があります。電源プラグは水気がない乾いた手で持って取り扱ってください。(感電の原因になる恐れがあります)

ボリュームをアップした状態で、長期間聴くと聴力に問題が生じます。

製品を使用する際、静電気の発生が激しい所では誤動作が生じる場合がありますので、ご注意ください。

重要なファイルは、いつもバックアップを取ってください。本体のアフターサービス時、機器の中に保存したあらゆるデータは削除される場合があります。尚、サポートセンターでは機器の中に保存されたファイルはバックアップいたしません。アフターサービス時のデータ消失に関しては、当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。

AC 電源アダプターとUSBケーブルは必ず、COWON SYSTEMS, Inc. で提供する部品をお使いください。

雷、稲光がする悪天候時には、落雷及び火災の危険がありますので、必ずパソコン本体及びACアダプターの電源コンセントを抜いてください。

※PC とデータ転送時、iAUDIO LCDの表示内容がRead, Writeの場合は
ファイルを使用していたり、読み込んでいるなどの転送時には、PC の Windows エクスプローラなどで完了されたと表示されていても、キャッシュ作用により内部的には動作を行っています。

目次

1. iAUDIO

2. JetShell

iAUDIO とは？
COWON SYSTEMS,Inc.で製造生産する MP3プレーヤーの固有ブランドとして、MP3ファイルと多数のマルチメディアの音声ファイル再生機能、FM放送の視聴/録音機能、内蔵マイクまたはライン入力端子を通したボイスレコーディング、及びダイレクトエンコーディング機能をサポートする超小型ポータブルデジタル音響機器です.

携帯しやすく､洗練された感覚の超小型デザイン
iAUDIO U2は洗練された超小型デザインで、胸ポケットにもスッポリ収まります。

内蔵バッテリで最大20時間の連続再生
リチウムポリマー充電池内蔵で超節電回路を採用、最大最高20時間の長時間連続再生が可能です。（COWON社テスト環境基準）

ボイスレコーディング（音声録音）
内蔵した高品質マイクを通し、ボイスレコーダーレベルの音声録音(ボイスレコーディング)が可能です。

ダイレクトエンコーディング（Line-in）
外部音響機器の出力を入力し、1:1で録音できるダイレクトエンコーディング機能を提供します。この機能は、録音端子と外部音響機器の出力端子を両方向ステレオケーブルで接続して録音することを意味します。この機能を利用すると、CDプレーヤー、MD (mini disk)、古いレコード盤(LP)の電蓄、テレビなどの音響機器から直接音声を取り込んで、iAUDIOにMP3ファイルとして録音できます。

FM放送の視聴/録音
FM放送を視聴でき、聴いている放送を機器にMP3録音できます。特にこの機能は語学学習にも有効に活用できます。そして検索したラジオ周波数を、チャンネル番号に保存することができるプリセット(Station)機能を提供します。

ワイドなグラフィック LCD
128×64グラフィックLCDで一目で本体の全般的な動作状態を確認することができます。
また多国語をサポートし、より美しいディスプレイを表現するために、機器本体に全世界言語4万字以上を表示することができる常用フォントを搭載しています。

全世界が認めた最強音場
全世界が認めた iAUDIOだけの強力で繊細な最強のサウンドを提供します。
iAUDIOはあらゆる音場効果を利用することができます。
- BBE ： 音楽を鮮明にする音場効果
- Mach3Bass ： 超低域を強調するベースブースター
- MP Enhance ： 損失した音の部分を補う音場効果
- 3D Surround ： 空間感を生かす立体音響

ファームウェアダウンロードでアップグレードも簡単に
ファームウエアのアップグレード機能を利用して、簡単に性能をアップでき、持続的なファームウエアの提供で実際のユーザーの要求と提案をサポートします。

リムーバブルディスク機能
USBケーブルでPCに接続すると、OS上でiAUDIOはリムーバブルディスクとしてすぐに認識されるので、iAUDIOは携帯用USBストレージとしても使用できます。

JetAudio 提供（英語版）
世界的な統合マルチメディア再生ソフトウェアの JetAudio を提供します。

パッケージの構成品

注意:記載の図柄はイメージですので実物と異なる場合があります。

AC電源アダプター(オプション)
※日本向け製品では標準品

バンドルイヤホン

iAUDIO U2
(MP3プレイヤー本体)

インストールCD (JetShell, JetAudio)ユーザーズマニュアル

ファッションネックストラップ

ファッションキャリングケース

簡単USB接続ジャック

USBケーブル、Line-in録音ケーブル

- MP3, MP2, WMA, ASF, WAV(48KHZ,STEREOまで)再生、音声録音、FM ラジオ放送受信及び録音、ダイレクト MP3 エンコーディング、リムーバブルディスク
- フラッシュメモリ内蔵（256MB / 512MB / 1GB）
- 4 Line グラフィック LCD
- USB 2.0インターフェース対応
- 長時間再生：最大20時間再生（COWON社テスト基準）
- 多国語サポート（機器内に世界各国の4万字以上を表示することができる常用フォントを搭載）
- 統合ナビゲーター機能
- 再生/一時停止（ポーズ）/イントロ再生、停止/電源OFF、録音
- 次のトラック/前のトラック、高速早送り/高速巻き戻し
- A-B区間無限リピート
- サーチ速度、スキップ速度の設定
- デジタルボリューム40段階
- 多様なイコライザ及び音場効果
  - ・ユーザー調節が可能な5バンドイコライザ
  - ・Normal,Rock,Jazz,Classic,Pop,Vocal,User
  - ・BBE, Mach3Bass, MP Enhance, 3D Surround
- レジューム機能、自動電源OFF設定
- ホールド機能
- バックライト点灯時間調節、スクロール速度調節
- ファームウェアダウンロード、ロゴダウンロード
- ID3V2, ID3V1, ファイルネームサポート
- 機器情報確認（ファームウェアバージョン、メモリ使用量）
- バンドルソフトウェア
  - ・JetShell（ファイル転送、MP3/WMA/WAV/AUDIO CD PLAY,MP3 ENCODING)※英語版
  - ・JetAudio（統合マルチメディア再生ソフトウェア）※英語版

ファイルサポート	MPEG 1/2/2.5 layer 3 (8kbps~320kbps) (8kHz~48kHz) 全領域とVBRサポート WMA (20kbps～192kbps) (8kHz~48khz) 全領域 WMA9 CBR (5Kbps mono ～ 320kbps Stereo) VBR (平均 48kbps ～ 平均256kbps) * WAV 再生可能(48KHz Stereoまで)
搭載メモリ	256MB / 512MB / 1GB
PCインターフェース	USB 2.0
ファイル転送速度	最大20Mbps
電源	リチウムポリマー充電池（最大20時間再生、COWON社テスト環境基準）
充電時間	Normal充電（約2時間）、Slow充電（約6時間30分）
ボタン	7個のボタン（Play, REC, Menu, FF, REW, VOL+, VOL-）
スイッチ	1個のスイッチ（Hold）
表示	128×64 フルグラフィック LCD
SNR	95dB
出力	16Ωイヤホン：13mW + 13mW
出力周波数	20Hz～20KHz
サイズ	73.8×25.0×18.0mm（高さ×幅×奥行き、突出部は除く）
重量	34g（リチウムポリマー充電池含む）

* WMA9 professional、Lossless Codec、Voice Codec は非対応

上面
イヤホンジャック
Line in端子
左側
正面
右側
後面
MIC
(マイク)
LCD
ディスプレイ
REC/A↔Bボタン
PLAY/STOP兼用ボタン
電源のオン/オフ
◀◀(REW)
前の曲、巻き戻し
－(VOL－)
ボリュームダウン、カーソルの下に移動、設定値のダウン
＋(VOL+)
ボリュームアップ、カーソルの上に移動、設定値のアップ
HOLDスイッチ
RESET
(リセット)
▶▶(FF)
次の曲、早送り
レバー(Menu / Navigation)
Menu / Navigationへ切替
底面
USB カバー
i AUDIO
COLOR SOUND
DIGITAL AUDIO PLAYER
RESET
REC/A↔B
HOLD
MIC
COWON SYSTEMS
i AUDIO U2
MP3 Player • Voice Recorder • FM Radio
USB

充電ケーブルの接続方法

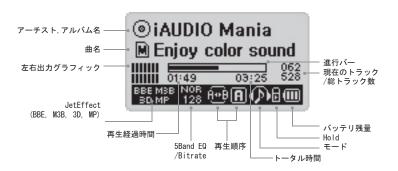
充電ケーブルを左側の図のようにUSBポートと接続します。
iAUDIOの電源がオフになっている状態で充電ケーブルを接続した場合、充電中のときはAのようになり、完了するとBのような画面になります。

A.充電中

B.充電完了

PLAYボタンを長く押すとiAUDIOが再生モードに切り替わり、充電ケーブルをつなげるとオフになります。
また、再生モード中の状態で充電ケーブルを接続すると、充電中のときはLCD左下側にアイコンが見え、充電が完了するとアイコンに変わります。

USBケーブルの接続方法

iAUDIO本体の底面のUSBカバーを開くと、搭載されたUSBポートが見えます。本体とコンピュータをUSBポートの方向に注意して接続します。
Windows XPの場合は転送ウィンドウが閉じてからUSBケーブルをそのまま抜いても問題はなく、**Windows 2000の場合は必ず“ハードウェアから安全に取り外す”を行ってから抜かなければなりません。またファイルのダウンロード時には、ダウンロード後iAUDIO LCDウィンドウでREADYに変わったことを確認してケーブルを抜いてください。**

バッテリ残量アイコンはバッテリの使用できる時間を目安表示します。バッテリを使用することによってアイコンの中の残量レベルが減ります。
充電池の場合、保存された電力量を測定中、バッテリマークのアイコンのレベル数が不規則に増減する場合がありますが、異常ではありません。

バッテリの残量がほぼ無くなってしまった場合、アイコンが点滅し始め、約30分ほど動作した後、自動的に電源がオフになります。

ID3V2, ID3V1を使用する場合は、ディスクマークを使用し、アーチスト名+アルバム名の情報を表示します。表示設定がFilenameだったり、タグに アーチスト情報がない場合はフォルダマークを使用してフォルダ名を表示します。曲がルートフォルダにある場合にはフォルダ名にiAUDIOで表示されます。

基本的な操作方法

1. 電源オン、オフ

・AC電源アダプターを接続したり、PLAYボタンを押すと、iAUDIOロゴが表示されながら電源がオンになります。
・使用後、PLAYボタンをもう1度長く押すと、電源がオフになります。（録音中、もしくは USB モードでは電源をオフにすることはできません。）
・電源をオフにする場合、AC電源アダプターが接続されている状態ならば、充電画面が表示され、充電モードに切り替わります。
・充電状態で再度PLAYボタンを長く押すと、前回の使用モード状態に切り替わります。
・Auto Off,Sleepタイマーを設定して、自動的に設定時間で電源をオフにすることができます。

PLAYボタンを押す

ロゴが表示されiAUDIOの
電源がオンになります。

電源をオフにする場合もPLAYボタン長く押します。

2. USB接続するには

・USB接続

電源がオフになっていたり、使用中、もしくは充電中にUSBケーブルを接続すると、USBモードになります。（録音中にUSBケーブルを接続すると、録音が自動終了し、USB モードになります）
USBケーブルを接続すると、内蔵バッテリを使用せずにUSB電源で動作します。
（Nomal充電モードで最大500mAを使用し、Slow充電モードでは150mAを使用します。Nomal充電モードで充電時、使用PC環境によっては過負荷でPCが不安定になる場合があります。この場合、メニューで充電機能をオフにしたり、Slow充電モードに設定してください）

・USB接続を解除

Windows タスクバーの「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」をした後、USBケーブルを取り外してください。

USB接続された画面

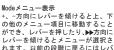
iAUDIOのデータを読み込み中

iAUDIOにデータを書き込み中

3.モード切替の基本操作 : MP3 Player, FM Radio, Voice Recorder, Line-in Recoder 4つのモードがあります。

例 : Digital Audio モードから FM Radio モードに切り替える場合の操作のしかた

Digital Audio モード

Menu表示
レバーを短く押して、Menuを表示します。

Modeメニュー表示
+、-方向にレバーを傾けると上、下の他のメニュー項目に移動することができ、レバーを押したり、▶▶方向にレバーを傾けるとメニューが選択されます。以前の段階に戻るにはレバーを ◀◀の方向に傾けます。

Mode選択
レバーを-の方向に傾け、FM Radioに移動してから、レバーを押したり、▶▶方向にレバーを傾けてFM Radioモードを選択します。

■ モード選択画面を開く

- 各モードで、他のモードに切り替えるめにはレバーを押してメニューに進入してから、Modeメニューを選択します。
- MP3 Player, FM Radio, Voice Recorder, Line-in Recoderの４つのモードを選択することができるモード画面が表示されます。

■ モード項目移動

- +、-方向にレバーを傾け、切り替えたいモードに移動します。

■ モード選択

- お好みのモードにメニューを移動してから、レバーを押したり、再生ボタン、もしくは ▶▶ 方向にレバーを傾けて、該当のモードを選択します。
- 選択されたモードの画面が表示され、モード切替作業が完了します。

■ モード切替キャンセル

- モード選択画面で作業をキャンセルして、元のモードに戻るには、RECボタンを押します。
- 前回のモード画面が表示され、モード切替作業がキャンセルされます。

4. メニューの基本操作

例:JetEffect のイコライザーを NOR(Normal)から ROC(Rock)に変える場合の操作のしかた

■ メニュー画面を開く

メニュー画面に入るために、レバーを短く押します。

■ メニュー項目の移動

・メニューの項目の上下移動は+、−方向にレバーを傾けます。
・下位メニューに入るには、レバーを押したり、▶▶ 方向にレバーを傾けます。
・上位メニューに移動するには◀◀ 方向にレバーを傾けます。（最上位のメニュー画面の場合、メニュー画面が閉じ、元のモード画面に戻ります。）
・設定完了後、下のモード画面に戻るにはPLAYボタンを押します。

■ メニュー項目の値の調節

・最下位項目の場合、その項目の設定画面に進入します。
・+、−方向にレバーを傾け、調節したい値にします。
・項目を選択するには、レバーを押します。調節された値は、すぐに反映されます。
・設定完了後、元のモード画面に戻るには、PLAYボタンを押します。

メニュー項目の選択
前の方法と同じようにEqualizerメニューを選択します。

イコライザ項目の移動
+、-方向にレバーを傾けます。NORで-方向にレバーを傾けるとROCを選択することができます。

ROCイコライザを選択を確定させるには
レバーを押したり、再生ボタンを押します。

5 Band dBのレバー調節
▶▶方向にレバーを傾け、5 Band dB レベルを調節することができます。

■ メニュー項目設定のキャンセル、メニュー画面を閉じる

- RECボタンを押すと、現在の設定中の項目の値を元の状態のままでメニュー画面を閉じます。
- PLAYボタンを押すと、現在の設定状態でメニュー作業を確定してメニュー画面を閉じます。

■ イコライザ(Equalizer)メニュー項目の設定

- イコライザメニュー画面に進入します。
- +、-方向にレバーを傾け、プリセットされたイコライザを選択することができます。(Normal, Rock, Jazz, Classic, Pop, Voice, Usr)
- ▶▶ 方向にレバーを傾け、イコライザーの各バンドを選択することができます。
- 選択されたバンドで+、-方向にレバーを傾け、バンドの dB レベルを調節してください。(-28 ～ 28dB)
- ◀◀ 方向にレバーを傾け、上位メニューに戻り、PLAY ボタンを押してイコライザー設定を確定します。

6. ナビゲーターの基本操作

例:iAUDIO 内のフォルダ構造が以下のような時、現在再生中のルートフォルダから b-1フォルダの 01.MP3 ファイルを選択して再生する場合のナビゲーターの操作のしかた

iAUDIO 内のフォルダ構造

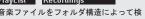
ナビゲーター進入
レバーを長く押して、ナビゲーター画面に進入します。

ナビゲーター項目の上下移動
+、-方向にレバーを傾けます。

ナビゲーター項目の選択
フォルダを選択して開く場合、レバーを押してポップアップが開き、Expand を選択します。もしくは ▶▶方向にレバーを傾けるとポップアップなしにすぐにフォルダ内部に進入できます。

選択されたファイルの再生
再生ボタンを押す場合、該当のモードに復帰しながら選択されたファイルが再生されます。▶▶ 方向にレバーを押しやるとナビゲーター状態で選択されたファイルが再生されます。レバーを押す場合、ポップアップが開き、Play now を選択するとナビゲーター状態で選択されたファイルが再生されます。

ナビゲーターモードに入る

ナビゲーター状態でレバーを長く押すと、Navigation Modeに切り替わります。

MusicFiles:MP3、WMAなどの一般的な音楽ファイルをフォルダ構造によって検索することができます。
Dynamic PlayList add to listで追加したプレイリストを表示します。リスト項目の削除も可能です。
Recordings:Recordingsフォルダ以下にあるファイルを検索します。Voice RecorderモードやLine-in Recorderモードで録音したファイルとFM Radio で録音したファイルなどはここで検索することができます。

■ ナビゲーターモード

・ナビゲーターモードに切り替えるために、レバーを長く押します。
・Digital Audio, Voice Recorder, Line-in Recorder モードの場合、メモリ内のフォルダ/ファイルを検索するためのナビゲーターが開きます。

■ ナビゲーター項目の移動

・ナビゲーター項目の上下移動は+、-方向にレバーを傾けます。
・下位フォルダへの移動はPLAYボタンを押したり、▶▶ 方向にレバーを傾けます。
・上位フォルダへの移動は ◀◀ 方向にレバーを傾けます。（最上のフォルダの場合、ナビゲーターが閉じ、元のモード画面に戻ります。）

■ ナビゲーター項目の選択

・選択されたファイル項目に対してPLAYボタンを押したり、▶▶ 方向にレバーを傾けると、そのファイルを再生します。
・選択されたフォルダ項目に対してPLAYボタンを押したり、▶▶ 方向にレバーを傾けると、そのフォルダに進入します。

■ ナビゲーターポップアップウィンドウ

・レバーを押すと、フォルダ、ファイル、Dynamic PlayList ファイル、Radioモードによって適切なポップアップウィンドウが開きます。
・+、-方向にレバーを傾け、お好みのポップアップウィンドウを選択します。
・PLAYボタンを押したり、▶▶ 方向にレバーを傾け、ポップアップウィンドウを選択します。
・RECボタンを押すと、ポップアップウィンドウをキャンセルしてポップアップウィンドウを閉じます。
・ファイルに対するポップアップ項目：Play now, Add to List, Intro, Delete
・フォルダに対するポップアップ項目：Expand, Play now, Add to List
・Dynamic Playlistファイルに対するポップアップ項目：Play now, Intro, Remove
・Radioモードナビゲーターでのポップアップ項目：Listen Ch, Save Current, Delete Ch

選択されたファイルでレバーを押す場合

選択されたフォルダでレバーを押す場合

■ ナビゲーターを閉じる

・RECボタンを押すと、ナビゲーター画面を閉じ、元の画面に戻ります。

MP3 プレーヤーモード

1. 電源オン・再生するには

・PLAYボタンを押すとiAUDIO ロゴが表示され、電源がオンになります。
・電源がオンになると同時にスタートします。
・リジューム機能が設定されている場合、最後に再生されたトラックと再生位置を記憶して、再びその位置から再生がスタートします。
・仮に他のモードでMP3 Playerモードに切り替えて音楽を聞くには、電源をオンにしてからレバーを短く押し、Modeメニューの中からMP3 Player を選択します。+、-方向にレバーを傾け、MP3 Playerを選択してからPLAY ボタンを押したり、レバーを押して選択すると、MP3 Playerモードに入ります。レバーを ▶▶ 方向に傾けてもモード選択され、該当のモード画面に切り替わります。

2. 電源オフ・停止するには

・PLAYボタンを長く押すと、電源がオフになります。
・再生状態で PLAYボタンを短く押すと、再生が一時停止します。
・Auto offやSleep機能を設定しておくと、自動で設定時間で電源がオフになります。
・PCとiAUDIOがUSB ケーブルで接続されている場合、電源をオフにすることはできません。

3. ボリューム調節するには

・PLAY状態でボリュームを調節するには、レバーを+または-方向に傾けます。
・短く押すと1単位ずつ調節され、長く押すと速い速度で調節できます。
・ボリュームは00(mute)〜40まで調節可能です。

4. 区間リピート設定するには:A↔B

MP3 Playerモードで再生中、REC（A↔B）ボタンを利用します。
区間リピートをお好きなスタート部分でRECキーを押すとLCD下段中間部分に（A↔）アイコンが表示されます。そしてリピート区間終了時点でボタンをもう1度押すと（A↔B）マークでアイコンが変わります。このように指定された区間は無限リピートして再生されるので、区間リピート中にこの機能をキャンセルしたい場合はRECボタンをもう1度押します。

5. ホールド

HOLD スイッチを左側にスライドさせると他のボタンを押しても本体は作動しません。

FM Radio (FM ラジオを聞くには)

電源をオンにした後、レバーを押してModeメニューで表示される項目中、FM Radioを選択します。+、−方向にレバーを傾け、FM Radioを選択してからレバーを押したり、PLAYボタンを押して選択すると、FM Radioモードに切り替わります。

FM放送が出力される状態で ◀◀ ▶▶ 方向にレバーを傾けると、0.1kHzずつ移動します。◀◀ ▶▶ 方向にレバーを1〜2秒長く傾けて手を離すと最も近い周波数帯域で受信率が良好なチャンネルを自動検索します。

FM放送を聞いている最中、該当の放送をすぐに録音したい場合はRECボタンを押します。既に設定された録音品質により録音されます。尚、ファイルは『Records』フォルダ下に『FM』内にF***.mp3というファイルとして保存されます。(***は3桁連番数字)

録音中、プレイボタンを短く押すと、'一時停止'になります。

録音の品質を設定するメニューは本ユーザーズガイド37ページを参照してください。

再生中にPLAYボタンを短く押すと、既に保存したチャンネルを簡単に選択することができるプリセットモードに切り替わります。また、放送聴取中にレバーを長く押し、20個のプリセットが選択できるFM Presets画面に切り替わり、+、−方向にレバーを傾けると、保存されたプリセットチャンネルを移動することができます。(チャンネルを選択する前まで放送は変更されません)チャンネルを選択してからMENUボタンを押すとポップアップでさらに便利ないろいろな機能を利用することができます。

- Listen Ch:現在の周波数を聴取する機能です。
- Save Current:現在周波数をプリセットに指定(追加)する機能です。
- Delete Ch:現在のプリセットを削除する機能です。

Voice Recorder(内蔵MICで音声録音するには)

電源をオンにしてからVoice Recorderモードでない場合、レバーを押しModeメニューで表示されるメニューの中のVoice Recorderを選択します。+、-方向にレバーを傾け、Voice Recorderを選択してからレバーを押したり、PLAYボタンを押とVoice Recorderモードに切り替わります。

RECボタンを押すと、録音がスタートします。
録音されるファイルは既に設定された録音品質により『RECORDS』フォルダ下に『VOICE』中にV***.mp3というファイルとして保存されます。(***は3桁連番数字)

録音品質を設定するメニューは本ユーザーズガイド37ページを参照にしてください。

録音を完了してからレバーを長く押してナビゲーターモードに切り替えると、さらに便利な機能を利用することができます。

- Play Now:該当のファイルをすぐに再生します。
- Add to List:ダイナミックプレイリストに追加します。
- Intro : 該当ファイルの初めの部分を聞く機能です。
- Delete:該当ファイルをフラッシュメモリから完全に削除する機能です。

早送り、巻き戻しなどの機能を利用して録音されたファイルを便利に再生するためにはMP3 Playerモードに切り替えてから、『RECORDS』フォルダ下の『VOICE』中のV***.mp3ファイルを選択して再生してください。

Line-in Recorder(ダイレクトエンコーディング)

CDプレーヤとiAUDIOとのダイレクトエンコーディングの仕方を例に挙げます。
電源をオンにしてから Line-in Recorderモードでない場合、レバーを短く押してModeメニュでLine-in Recorderを選択します。+、-方向にレバーを傾け押しやり、Line-in Recorderを選択してからレバーを押したり、PLAY ボタンを押して選択すると、Line-in Recorderモードに切り替わります。

CDプレーヤのヘッドホン端子とiAUDIOの Line-in端子を付属のLine-inケーブルで双方に接続します。

RECボタンを押してiAUDIOを録音待機状態にします。このときiAUDIOはLine-in端子から入ってくる信号を受けて自動的に録音がスタートします。

録音されるファイルは『RECORDS』フォルダ下の『LINE IN』中にL***.mp3のように一連の数字で保存されます。(***は3桁連番数字)

録音品質を設定するメニューは本ユーザーズガイド35ページを参考にしてください。

録音を完了してからレバーを長く押してナビゲーターモードに切り替えると、さらに便利な機能を利用することができます。

- Play Now:該当のファイルをすぐに再生します。
- Add to List:ダイナミックプレイリストに追加します。
- Intro : 該当ファイルの初めの部分を聞く機能です。
- Delete : 該当ファイルをフラッシュメモリから完全に削除する機能です。

早送り、巻き戻しなどの機能を利用して録音されたファイルを便利に再生するためにはMP3 Playerモードに切り替えてから、『RECORDS』フォルダ下の『LineIn』中L***.mp3ファイルを選択してから再生してください。

JetEffect

1. Equalizer

MP3 Playerモードの状態でレバーを短く押してJetEffectに入ります。
Equalizerを選択してMENUボタンを押すと5バンドイコライザが表示されます。
Normal, Rock, Jazz, Classic, Pop, Vocal, Userイコライザの中からお好みの項目に+、-方向にレバーを傾けて移動します。
このようなすべてのイコライザはユーザー調節が可能です。各バンドのdBレベルを調節したい場合、お好みのイコライザを選択してから ▶▶ 方向にレバーを傾け、編集できる状態に切り替えてから+、-方向にレバーを傾けて値を調節することができます。

2. BBE: BBE

BBEとは音楽を鮮明にする音場効果です。
MP3 Playerモードの状態でレバーを短く押してから、JetEffectに入ります。
BBEを選択してレバーを押すと0～10段階で調節することができるメニューが表示されます。この状態で+、-方向にレバーを傾けて値を調節することができます。

3. Mach3Bass: M3B

Mach3Bassは超低域を強調するベース増幅機能です。
MP3 Playerモード状態でレバーを短く押してからJetEffectに入ります。Mach3Bassを選択してレバーを押すと0～10段階で調節できるメニューが表示されます。この状態で+、-方向にレバーを傾け、値を調節することができます。

4. MP Enhance: MP

MP Enhanceは損失した音の部分を補う音場効果です。
MP3 Playerモード状態でレバーを短く押すと、JetEffectに入ります。MP Enhanceを選択してレバーを押すと、この機能を On/Off するメニューが表示されます。この状態で+、-方向にレバーを傾けて設定することができます。

5.3D Surround:

3D Surroundは3D立体音響効果を提供します。
MP3 Playerモード状態でレバーを短く押してからJetEffctに入ります。
3D　Surroundを選択してレバーを押すと、0〜10段階で調節できるメニューが表示されます。この状態で+、−方向にレバーを傾けて値を調節することができます。

6. Pan(左右バランス)

Panは左右音量のバランスを調節する機能です。
MP3　Playerモード状態でレバーを短く押してからJetEffectに入ります。Panを選択してレバーを押すと0を基準に−20から+20まで調節できるメニューが表示されます。この状態で+、−方向にレバーを傾けて値を調節することができます。

Play Mode

1. Boundary (再生範囲を設定するには)

多様な再生範囲を設定するメニューです。
MP3 Playerモード状態でレバーを短く押してから、PLAY Modeに入ります。
Boundaryが選択された状態でレバーを１回ずつ押すと、以下のように変更されます。
尚、Voice録音、Line-inで録音されたMP3ファイルは除外されます。

- 1 One : １曲だけ再生します。
- F Folder : 現在選択されたフォルダのみ再生します。
- A ALL : フォルダに関係なく、すべてのトラックを再生します。
  但し、RECORDSフォルダの中にある録音ファイルは除外されます。
  RECORDSの中ではＦや１モードのみ動作します。
- P Playlist : プレイリストの中に選択されたトラックのみ再生します。

2. Repeat(リピート再生を設定するには)

Boundaryで設定されている再生範囲内でリピートを設定することができます。
MP3 Playerモード状態でレバーを短く押してから、Play Modeに入ります。
Repeatを選択してレバーを押すと、右側のチェック欄にチェックされます。
またレバーを押してチェックをなくすとリピート再生は設定されません。
チェックされるとBoundary再生範囲内で無限にリピート再生します。

3. Shuffle(任意再生を設定するには)

Boundaryで設定された再生範囲内で、再生順序を任意再生するかどうかを設定します。
MP3 Playerモード状態でレバーを短く押してからPLAY Modeに入ります。
Shuffleを選択してレバーを押すと、右側のチェック欄にチェックされます。
もう一度レバーを押しチェックをなくすと、任意再生は設定させません。
チェックされると、Boundary再生範囲内で任意再生されます。

Display

1. Lyrics（歌詞出力）※日本語の歌詞には非対応です。

歌詞出力機能のOn/Offを設定します。
- On：歌詞がある場合、自動出力されます。
- Off：歌詞があっても出力はされません。

2. Play Time（再生時間）

再生されるトラックの時間表示の種類を設定する機能です。
- Elapse：再生中、経過した再生時間を表示します。（例：0:01）
- Remain：再生中、再生残時間を表示します。（例：3:32）

該当機能を選択してレバーを押すと適用されます。

3. Song Title（曲名表示）

ファイル名表示の種類を設定する機能です。
- ID3V2: ID3 Tagバージョン2に優先権を与えます。
- ID3V1: ID3 Tagバージョン1に優先権を与えます。
- File Name: ファイル名をそのまま表示します。

該当機能を選択してレバーを押すと次の曲から適用されます。

4. Scroll Speed（画面速度）

LCDに表示される文字のスクロール速度を調節する機能です。
- 0から8まで設定することができます。（0はスクロールされません）
  Scroll speedを選択してレバーを押してから、+、−方向にレバーを傾けて適切な値を選択することができます。

5. Page Sliding (メニュー開閉スクロール速度)

メニューの開閉スクロール速度を調節する機能です。
・ Off, Fast, Normal, Smooth を選択することができます。
該当の機能の値を選択してレバーを押して適用します。

6. Language (言語)

LCD表示（ファイル名、ID3 Tag）言語を設定する機能です。
・ Chinese(Simp),Chinese(Trad), English, Hangul(Korean), Japanese, Russinの中から選択できます。
※フォントの互換性により一部の特殊文字が正常に表示されない場合があります。

7. Contrast(画面の明度)

・ LCD画面の明度を調節する機能です。
・ 1から9までの設定を行うことができます。
Contrastを選択してレバーを押してから、+、-方向にレバーを傾けて適切な値を設定することができます。

8. Backlight Time

バックライトの点灯時間を設定する機能です。
・ Timeを選択してレバーを押してから、+、-方向にレバーをスライドして3秒、5秒、10秒、30秒、60秒、Always ON, Always OFFから選択することができます。

Timer

1. Auto Off

非再生状態で設定した時間、ボタン操作を一切しない場合自動でiAUDIOの電源がオフになる機能です。

・ Off, 30sec, 1, 5, 10, 30, 60minの中から選択することができます。
・ Auto Offを選択してレバーを押してから、+、-方向にレバーを傾けて適切な値を選択することができます。

2. Sleep

再生等動作している状態で、設定した時間に合わせて自動でiAUDIOの電源がオフになる機能です。

・ Off, 10, 20, 30, 40, 50, 60, 90, 120min の中から選択することができます。
・ Sleepを選択してレバーを押してから、+、-方向にレバーを傾けて適切な値を選択することができます。

General

1.Skip Length (スキップ長さ)

MP3 Playerモードで再生中に ◀◀ ▶▶ 方向にレバーを短く傾けたとき、1回にスキップする時間の長さを設定する機能です。
・ Track/2/3/4/5/10/15/20/30secより選択することができます。

2.Scan Speed (スキャン速度)

MP3 Playerモードで再生中に ◀◀ ▶▶ 方向にレバーを長く傾けた際の、早送り/巻き戻し速度を設定する機能です。
・ x1/x2/x4/x8/x16倍速より選択することができます。

3. Resume (レジューム機能)

最後に再生した位置（トラック）を記憶する機能です。
・ On/Off の中から選択することができます。

4. Auto Play (自動再生)

iAUDIOの電源をオンにした際、自動再生を開始する機能です。
・ On/Off の中から選択することができます。

5. Charge (充電速度)

USB充電速度を設定するメニューです。
・ Normal/Slow/Offの中から選択することができます。
旧型のPCやノートブックなど充電池の電力を使用する場合は、Slow設定を推奨します。

Recording

1. Line-in bps（ラインイン）

Line-inで録音されるMP3ファイルの転送率（品質）を設定するメニューです。

2. Voice bps (内部マイク)

製品背面部にある内部マイクで録音されるファイルの転送率（品質）を設定するメニューです。
※内部マイクで録音される全部の MP3ファイルはモノラルです。

3. FM Radio bps（FMチューナー）

FM放送の聴取中、RECボタンを押して録音させるMP3ファイルの転送率（品質）を設定するメニューです。

4. Mic Volume

製品背面部にある内部マイクのボリュームレベルを調節します。
・ 過度なボリューム値は周辺騒音の増幅または電気的なノイズを発生し、録音品質が低下する場合があります。
・ １～10までの値で設定できます。大きな数字ほどボリュームレベルが増幅します。

5. Voice Active

録音中、音声の入力がない場合、自動でPause状態になり、大きな音声が入力されると、再録音がスタートする機能で、メモリを節約できる特徴があります。

・ Off、1～10までの値が設定でき、小さな値ほど敏感に反応します。また周辺騒音に備え、過度に高い値は機器の敏感度を劣化させ、録音待機状態を維持するので、重要な録音時にはOffにしてから利用してください。

6. Line Volume

Line-in端子の入力ボリュームレベルを調節します。

・ 1～10までの値が設定でき、大きな値ほど入力ボリュームが増幅します。

7. Auto Sync

Line-in端子から入ってくる音を感知し、トラックとトラックとの間の空白で自動認知し、それぞれのトラックを切り、個別のファイルにする機能です。

・ Off、1～8 までの値が設定でき、大きな値ほどトラック間の空白の幅が長いものと認知されます。
・ 設定数値は sec（秒）を意味するものではなく、レベル段階の表記です。

FM Radio

1. Stereo(ステレオ)

FMラジオの視聴時、Stereo及びMonoを選択するメニューです。
・ Stereo/Monoの中から選択することができます。

2. Auto Scan

FM周波数を自動で検索し、Presetに登録する機能です。
この機能はFM Radioモードでのみ動作します。

3. FM Region(視聴地域設定)

視聴地域（国）を選択するメニューです。
・ China / Europe / Japan / Korea / Russia / USの中から選択することができます。

Information

Version（ファームウェアバージョン）
現在のiAUDIOに搭載されているファームウェアバージョンを表示します。

Memory（使用/全体メモリの容量）
現在 iAUDIO のフラッシュメモリに対する情報を表示します。
・ 使用量、残量を確認することができます。
・ iAUDIO フラッシュメモリはシステム領域で使用される部分を共有しています。したがって、iAUDIO の正常な駆動に必須的に必要とするシステム領域を除外すると、実際に表示されるフラッシュメモリ容量は多少減る場合もあります。
例えば、128MB製品の場合、119MBぐらいのメモリ容量が正常製品です。

Battery（内蔵バッテリの残量）
現在 iAUDIO 内にある充電池に対する情報を V値として表示します。

- フラッシュメモリーを使用するデバイスの機能により、認識できる最大のファイル数（フォルダーを含む）には制限があります。
- 認識できる最大のファイル数（フォルダーを含む）は約650個であり、今後のファームウェアのアップグレードにより変更される場合があります。

症状	**処置**	**説明**
電源がオンになりません。	HOLDボタンがOnになっているかどうかを確認します。ホールドボタンを OFFに解除してから利用してください。	HOLDボタンがOnになっている状態では機器が動作しません。
	ACアダプターを接続しても同じ現象が発生するか確認してください。	内蔵バッテリが完全放電になった場合、ACアダプターを使用して充電をしてください。
音楽が全然聴こえません。	機器のメモリにMP3などオーディオファイルが保存されているか確認してください。	機器のメモリ中に保存されたオーディオファイルがない場合、動作しません。
	ボリュームが0になっていないか、またはイヤフォンが正しく接続されているかを確認してください。	ボリュームが0になっていたり、またはイヤフォンが正しく接続されていないと音楽は聴こえません。
FMラジオが聞こえません。	建物の内部または地下鉄の全区間、移動中の自動車の中のように受信の位置によってFM受信感度が低下し、放送受信状態が悪くなる場合があります。また電波が建物の影になる地域では聴こえないことがあります。	
	ラジオ受信が可能な地域でFMラジオが動作しない場合、受信モジュールに問題がある場合がある場合があります。サポートセンターまでお問い合わせください。	
LCDに文字が化けて表示されます。	機器のメニューの言語設定でJapaneseに再設定、DisplayメニューのSong Title設定をFile nameに設定してみてください。ただ、あらゆる同じiAUDIO機器で同じ症状が発生現象は韓国版Windows基準で開発された機器のため、一部特殊フォント/言語は文字が化けて表示される場合があります。	
フラッシュメモリ容量が少なく表示/使用されます。（例：256MBなのに242MBに表示）	iAUDIOのフラッシュメモリはシステム領域で使用される部分を共有しています。したがってiAUDIOの正常な駆動に必須的に必要とするシステム領域を除外すると、実際表示されるフラッシュメモリ容量は多少減る場合もあります。例えば256MB 製品の場合、242MB ぐらいの容量の場合、正常製品です。	

症状	処置	説明
機器のメモリ容量一杯にファイルを転送すると誤動作したり、オーディオファイルが再生されません。	製品の初期化後、1-2MBほどの余裕スペース（空き容量）を残してしてください。	フラッシュメモリのRootフォルダには機器の重要なシステムファイルであるsettings.datファイルが保存されています。このファイルが正常に保存されなかったり、ファイル転送中に謝って削除/破損された場合、機誤動作が発生する場合があります。
ルート(Root)フォルダに多くのファイルを保存（数百）したら機器が動作しなかったり、誤動作したりします。	別途フォルダを作成し、その下位にファイルを転送（保存）して下さい。	iAUDIOはFATを利用します。FATの制約のため、ルートディレクトリにファイルを多く保存ことは避けてください。

JetShellの起動中、iAUDIOドライブをコントロールするために、以下の場合には必ずJetShellを終了してからご使用ください。

・USBドライブのインストール時
・Windowsエクスプローラでフォーマットする場合
・ファームウェアのアップグレードをする場合

MP3 Playerモード

キー		動作	停止時	再生時
Play/Pause	▶/II	●	現在のトラック再生	現在のトラック一時停止
		▬	電源オフ	電源オフ
FF		●	次のトラックに移動	次のトラックに移動、または 5sec、10sec移動（SKIP設定）
		▬	高速早送り	高速早送り
REW		●	前のトラックに移動	前のトラックに移動、または 5sec、10sec移動（SKIP設定）
		▬	高速巻き戻し	高速巻き戻し
MENU		●	設定メニュー	設定メニュー
		▬	Navigator	Navigator
+			ボリュームアップ	ボリュームアップ
-			ボリュームダウン	ボリュームダウン
REC/A↔B	REC/A↔B	●		Repeat A↔B スタート及び終了（区間リピート）

キー動作から ● は短く押した場合を意味し、▬ は１秒以上長く押した場合を意味します。

FM Radio モード

キー		動作	停止時	Preset モード時
Play/ Pause	▶/II	●	Presetモードに入る	Presetモードをキャンセル
		▬	電源オフ	電源オフ
FF		●	周波数増加	次のPresetへ移動
		▬	次のFM放送を自動検索	次のPresetへ移動
REW		●	周波数減少	前のPresetへ移動
		▬	前のFM放送を自動検索	前のPresetへ移動
MENU		●	設定メニュー	設定メニュー
		▬	Presetモード設定	Presetモード設定
+			ボリュームアップ	ボリュームアップ
–			ボリュームダウン	ボリュームダウン
REC/A↔B	REC/A↔B		録音スタート及び終了	録音スタート及び終了

キー動作から ● は短く押した場合を意味し、▬ は１秒以上長く押した場合を意味します。

Voice Recorder / Line-in Recorderモード

キー		動作	停止時	録音/再生時
Play/ Pause	▶/II	●	前の録音ファイルを再生	一時停止/継続録音
		▬	電源オフ	電源オフ
FF		●		録音ファイルの移動（再生時）
		▬		
REW		●		録音ファイルの移動（再生時）
		▬		
MENU		●	設定メニュー	
		▬	Navigator	
+			ボリュームアップ	
−			ボリュームダウン	
REC/A↔B	REC/A↔B		録音スタート	録音終了（録音時）

キー動作から ● は短く押した場合を意味し、▬ は１秒以上長く押した場合を意味します。

Navigator（ナビゲーター）

キー		動作	ファイル選択時	フォルダの選択
Play/Pause	▶/II	●	選択されたファイルの再生後、MP3 Player モードに変更	Expand（該当）フォルダへ移動
FF		●	選択されたファイルを再生して、ナビゲーターモードを維持	Expand（該当）フォルダへ移動
REW		●	上位フォルダに移動	上位フォルダに移動
		▬		
MENU		●	ポップアップメニュー	ポップアップメニュー
		▬	ナビゲーターモードに入る	ナビゲーターモードに入る
+			項目を上へ移動	項目を上へ移動
-			項目を下へ移動	項目を下へ移動
REC/A↔B	REC/A↔B		MP3 Playerモードに変更	MP3 Playerモードに変更

キー動作から ● は短く押した場合を意味し、▬ は１秒以上長く押した場合を意味します。

JetShell(ジェットシェル)とは?

JetShellは次のような役割を行なうiAUDIO専用マネージャープログラムです。

- iAUDIOにファイルを転送(Download/Upload)する機能
- Windowsエクスプローラと同じ構造のファイル管理機能
- MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)再生
- Audio CDからmp3ファイル抽出(リッピング)機能
- WAV /MP3 /WMA間の相互変換機能
  (但しMP3からWMA、WMAからWAV、WAVからMWA変換は非対応)
- MP3 Bit rate変換機能
- 転送リスト(Download List)による便利なファイル転送
- 様々なスペクトラム、イコライザー、イフェクトサポート
- CDDB、ID3タグ編集機能(CDDBは日本語非対応)
- iAUDIOロゴ転送機能
- フラッシュメモリーフォーマット機能

JetShellのPC使用環境

- Pentium II 233Mhz相当以上のCPU
- 64MB以上のシステムメモリ(または使用OSが推奨するシステムメモリ)
- ハードディスクに最低20MBの空き容量
- 256 Color以上のグラフィックカード
- Windows98 SE/ME/2000/XP (NTはサポート不可)
- USBポート1.1規格以上
- CD-ROM
- サウンドカード、スピーカーまたはヘッドホン

JetShellのセットアップ

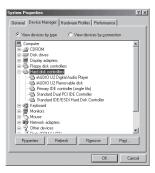
iAUDIOのセットアップCDをCD-ROMドライブに入れると、セットアッププログラムが自動的に実行されます。ご使用のパソコンの環境によっては自動的に実行が行なわれないことがあります。この場合はCD-ROM:\Setup.exeまたはCD-ROM:\JetShell\Setup.exeを実行してください。インストールが完了すると、Windows内に スタート → プログラム → COWON → iAUDIO U2 → JetShell の階層で登録されます。

iAUDIOの接続

Windows ME/2000/XPの場合（98SEの場合はP48）

1. まずiAUDIO と PC を接続します。(このときJetShellは実行しないでください) USB ケーブルを使用して iAUDIOのUSB ポートとPCのUSBポートを双方接続します。（iAUDIO は USB ハブを経由せず、PC本体のUSB ポートに直接接続することを基準とします）

2. USBケーブルを接続すると、正常な Windows 環境ならば「新しいデバイスを検出しました」というメッセージとともに iAUDIO U2 USB ドライバーが自動でインストールされます。ご使用のWindows環境によって、ドライバインストール画面は画面上に表示されないこともあります。実際にインストールが完了されたかどうかを確認するためには、次のように（ XP Home Editionの場合）マイコンピュータの中に新しいローカルディスク（リムーバブルディスク）が追加（認識）されたか、またはコントロールパネル→システム→ハードウェア→デバイスマネージャで確認することができます。

3. 以上の手順が完了されると、JetSkellや Windows エクスプローラを使用して ファイルを転送することができます。

Windows98SE の場合

1. Windows98 SE以外のオペレーションシステム(OS)はP46をご参照ください。

2. 以降図で示したたE:\ドライブは、このマニュアルを作成する時のパソコン環境（例）です。、従って実際ご使用になるパソコンのドライブ名と置き換えてお読みください。

3. iAUDIOとパソコンのUSBケーブルをつなぎます。正常なWindowsの環境の場合、iAUDIO U2 Digital Audio Playerのデバイスを検出したというメッセージと共に次の画面が出力されます。次の画面が表示されたら「Next」ボタンをクリックします。

4. 「Searcth for the best driver for your device」にチェックを入れて「Next」ボタンをクリックします。

5. 「Specify a location」をチェックしてから「Browse」ボタンをクリックします。

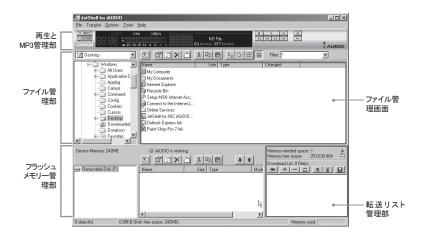
▼

6. 表示された「Browse」画面でiAUDIOのセットアップCDが入っているドライブの中の、「Win98」というフォルダを選択してから「Next」ボタンをクリックすると画面に「iAUDIO U2 Digital Audio Player」というモデル名が表示されます。この画面が表示されたら「Next」ボタンをクリックしてください。

▼

7. セットアップCDの中で必要なドライバファイルをコピーしてインストールが終了すると完了画面が表示されます。

8. 正常にiAUDIO U2のインストールが完了したかを確認するには、コントロールパネル → システム → デバイスマネージャ → ハードデスクコントローラーの下位デバイス → 「iAUDIO U2 Digital Audio Player」というデバイスが表示（認識）されていればインストールは正常です。

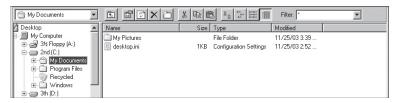
全体の構成

JetShellの起動中、iAUDIOドライブをコントロールするために、以下の場合には必ずJetShellを終了してからご使用ください。

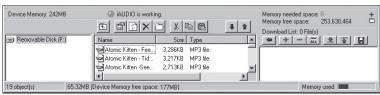
・USBドライブのインストール時
・Windowsエクスプローラでフォーマットする場合
・ファームウェアのアップグレードをする場合

MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)の再生

ファイル管理画面でMP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)をダブルクリックするか、上の図のようなコントロールパネルにファイルをドラッグ&ドロップをすると、すぐに該当ファイルの再生がスタートします。またファイルを多数選択してからPlay(プレイ)ボタンを押しても大丈夫です。中央の黒い画面に指定されたトラックの進行状態や曲名が左の方向に動きながら表示されます。

右側にある各ボタンによってファイル再生をスタート/停止させることができ+と－ボタンを利用するとボリューム調節をすることができます。ポジションバーをクリックしてトラックの特定地点まで瞬間移動（スキップ）することもできます。

MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)の再生

JetShellのファイル管理部は、Windowsエクスプローラとほとんど同じです。左画面はツリー構造で、フォルダとデスク、CD-ROMを表示します。右側には該当するフォルダ内の詳しいファイルリストを表示します。

フラッシュメモリー管理

JetShellの下段部はiAUDIOのフラッシュメモリー管理部＋転送リスト部分です。
iAUDIOが正常に認識されていれば、図のように赤色の「iAUDIO is working」というランプとメッセージが表示されます。ユーザーがパソコンからiAUDIOに転送した各種ファイルは中央のウィンドウに表示されます。右の下段部の端に表示されている使用メモリーは、iAUDIO全体のフラッシュメモリーのうち使用されている量を意味します。例えば上の画面のように「Memory needed space 0」になっているとiAUDIO内には使用できる空き容量がないことを意味します。

ボタン	機能	説明
	上位に	上位フォルダに移動します。
	プロパティ	該当ファイルのプロパティを確認します。
	新規更新	フラッシュメモリーの内容を新しく読んで表示します。
	削除	指定したファイルまたはフォルダを削除します。
	新しいフォルダ作成	新しいフォルダを作成します。
	切り取り	指定したファイルやフォルダを切り取ります。
	コピー	指定したファイルまたはフォルダをコピーします。
	貼り付け	切り取りまたはコピーしたファイルを貼り付けます。
	フラッシュメモリーに転送	指定したファイルまたはフォルダをパソコンからiAUDIOに転送します。
	パソコンに転送	指定したファイルまたはフォルダをiAUDIOからPCに転送します。

JetShellは視覚的に素晴らしいスペクトラムを表示します。スペクトラムが出る部分をマウスでクリックすると次のように画面が変わるのが確認できます。

また次のような多彩なエコライザーとエフェクトをお楽しみいただけます。

- Normal
- Rock
- Pop
- Jazz
- Classic
- Vocal

様々なイコライザ

- Normal
- Room Reverb
- Big Room
- Hall Reverb
- Stage Reverb
- Stadium Reverb
- Cathedral 1
- Cathedral 2
- Air Duct Reverb
- Metallic Reverb
- Simple Reverb
- Alien 1
- Alien 2
- Bass Boost
- Mega Bass Boost
- Simple Echo
- Distance Echo
- Long Echo
- Alpia Echo
- Double Echo
- Strange FB 1

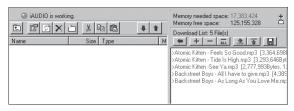
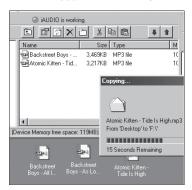
多彩なEffect設定

MP3ファイルをiAUDIOに転送する

1. オーディオファイルをiAUDIOに転送するのは非常に簡単です。上部のファイル管理部から転送しようとするファイルを選んで、下向きの矢印ボタンを押します。

2. またはWindowsエクスプローラの使用時と同様に、上側のファイル管理部から該当するファイルを選択して下側のウィンドウにドラッグ&ドロップします。

3. 転送中の画面です。転送中には絶対にUSBケーブルを抜かないでください

4. または以下の図のように転送リスト画面にあらかじめ登録してから転送する方法もあります。それぞれ違うフォルダにあるファイルを＋ボタンで登録しておいて、一括転送する場合に便利です。

5. JetShellの外部にあるファイルをマウスでドラッグしてフラッシュメモリーのウィンドウに持っていくことでも転送することができます。

iAUDIO内のファイルを削除する

iAUDIO内に入っているファイルを削除するのは、Windowsエクスプローラでファイルを削除する方法と同じです。削除したいファイルを選択後、✕ ボタンを押すと「フラッシュメモリーから削除」の確認メッセージが表示されます。削除を実行する場合は「OK」を選択します。

フラッシュメモリを初期化するには(フォーマット)

ハードディスクをフォーマットするように iAUDIO もフォーマットすることができます。但し、フォーマットをする場合、メモリの中に入っている全てのデータが消失してしまうので、十分ご注意ください。

1. JetShellのFileメニュー「Format Device Memory」をクリックします。

2. フォーマットウィンドウが表示されます。ここで FAT またはFAT32を選択します。もしNTFSを選択してフォーマットした場合、iAUDIOは単純なUSB保存メディアとしてのみ認識され、MP3 Playerとしては正常に動作しません。したがって、必ず FATまたはFAT32 でフォーマットをしてください。

フォーマット後、JetShellでデバイスを検索できない場合にはUSBケーブルを一度抜いてiAUDIOの電源をオンにして動作させた後、もう一度接続してください。

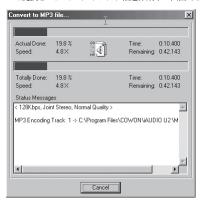
オーディオCDトラックをMP3ファイルに変換と同時にiAUDIOにダイレクト転送

JetShellを使用すると自分のオーディオCDをMP3に簡単に変換して、iAUDIOに転送することができます。MP3変換時、WAVを経ずにオーディオCDトラックをデジタル方式で直にMP3に保存しますので非常に効率的です。

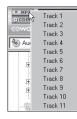
1. 作業する前に生成するMP3ファイルの品質をあらかじめ設定する必要があります。
「Option – MP3 Encoder Option」メニューをクリックし、希望するMP3ファイルのBitrate（転送率）を指定します。(Bitrateが高いほど高音質で圧縮されますが、ファイルサイズは大きくなります)

2. ファイル管理部でオーディオCDが入っているCD-ROMドライブを選択してから、右側のウィンドウに表示されているオーディオトラックを選択した後に [MP3] をクリックするか、Fileメニューの「Convert CD to MP3」をクリックします。

3. MP3ファイルをどのフォルダに保存するを指定します。
この時、iAUDIO(リムーバブルディスク)内の保存したいフォルダを指定します。

4. MP3変換とiAUDIOにダイレクト転送作業中の画面です。

1. Enhanced CDのリッピング

一部のエンハンスドCDの場合、オーディオCDを選択してもトラックファイルを直接選択することができません。こうした場合は次の図のように、 ボタンで、マウスの右ボタンをクリックして希望するトラックを選択してからMP3ファイルに変換することができます。但し、不法複製防止技術が適用された一部のオーディオCDの場合、このような方法でもリッピングできないことがあります。

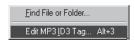
エンハンスドCD (enhanced CD)とは?
オーディオCD内にパソコン用動画やデータが入っているCDです。

マウスの右ボタンをクリックするとトラックが表示されます。

2. CDDB接続機能

 ボタンを押すと、アーチスト、曲タイトルなどのCD情報をインターネットを通じて持ってくることができます。CDDBを利用するには、インターネット接続が可能な状態でなければならず、またご使用の環境によりネットワークの状態やプロキシサーバの状態によって接続されないこともあります。

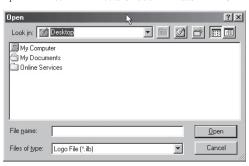
CDDBから取り込んだCDテキスト情報のうち、正しくないデータを取り込むと、ご使用のパソコンで(日本語を含む)文字化けすることがあります。これはJetShellのエラーではなく、該当CDDB内に保存されているテキスト情報（フォント等）のエラーです。

3. ID3 タグ編集機能

JetShellのToolメニューの「Edit MP3 ID3 Tag」機能を使用すると、希望するMP3ファイルのID3タグ情報を変更することができます。

4. MP3ファイルのBitrate(転送率)を変換する

JetShellのFileメニュー「MP3 Bitrate Conversion」を使用すると、選択したMP3ファイルのBitrateを変更することができます。

5. ロゴファイル転送機能

ロゴファイル転送機能は、iAUDIO起動時(電源オン)に表示されるロゴ画面を変える機能です。
希望するロゴを選択してから、Openボタンを押せばロゴが自動的に転送されて適用されます。

JetAudioのセットアップと使用

iAUDIOのセットアップCDの中には、世界的に有名なマルチメディア統合再生プログラムである JetAudioが含まれています。このJetAudioをインストールするには「CD-ROM:\JetAudio\setup.exe」ファイルを実行してください。JetAudioについての詳しい使い方はインストール後に生成する JetAudioヘルプを参考にするか、Http://www.JetAudio.comのサイトのQAの掲示板でお問い合わせください。

ファームウェアアップグレードについて

A. ファームウェア(Firmware)とは?

ファームウェアとはハードウェアに内蔵されているプログラムで、ハードウェアの様々な機能を制御しています。ファームウェアのアップグレードによって製品の機能を向上させたりバグを修正することができます。

B. ファームウェアによる法的限界および責任公示

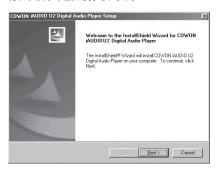
- iAUDIO U2は製造元でサポートする正式またはベータバージョンのファームウェアのアップグレードサービスにより、性能およびメニュー構成が予告なく変更することがあります。
- ファームウェアアップグレード時には、フラッシュメモリー内に保存されている全てのデータが削除されます。そのためiAUDIO U2に保存されている各種MP3ファイルや重要なVoice録音ファイルは、必ずご使用になるご自身がパソコンにバックアップしなければなりません。
- 全てのファームウェアのアップグレードは、結果的に全体的な性能の向上を目的とし、当社の裁量で、非定期的にアップグレードを提供します。
- 開発ロードマップ上に含まれている一部のベータ版のファームウェアには、正式版ファームウェアで修正される予定の問題で多少誤動作が起こることがあります。このような可能性についてはWEBなどを通じてあらかじめお知らせします。

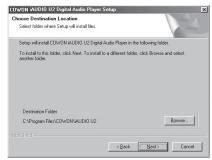
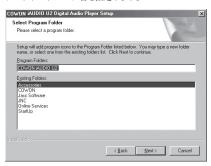
C. ファームウェアアップグレードをするための条件

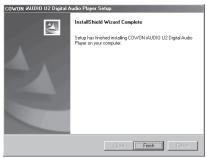
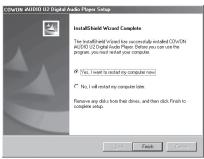
- iAUDIO U2 のファームウェアアップグレードをするためには、WindowsのOSのUMS機能が正常に動作する基本環境が必要です。
- Windows98SE/ME/XPでは、マイコンピュータの中のiAUDIOという名前で確認することができます。Windows2000ではiAUDIOという文字ではなく「リムーバブルディスク」と表示されることがあります。
- このようにiAUDIOまたはリムーバブルディスクと正常に表示されなければ、ファームウェアのアップグレードができません。このような場合、パソコンのCMOSでUSBデバイスの設定が適切であるかを再確認するか、Windowsの再インストールまたはパソコンのUSBポートを点検されることをお勧めします。

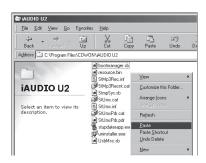
D. ファームウェアのダウンロードとセットアップ

- 最新のファームウェアはwww.cowonjapan.comより無料ダウンロードできます。
- iAUDIO U2 のファームウェアをアップグレードをするためには、ファームウェアのアップグレード用プログラムとファームウェアのデータファイルがなければなりません。尚、この二つの種類のプログラムは別々に提供されます。アップデート方法については次の手順を参考にしてください。

  ① まず最初にファームウェアのアップグレード用プログラムをインストールしなければなりません。ダウンロードしたファイルを解凍して、ファイル中のsetup.exeまたはsetupファイルを実行すると次の画面が表示されます。

② 使用権契約の条項を確認してから、インストールを進めるには[Next(次へ)]ボタンをクリックしてインストールを実行してください。

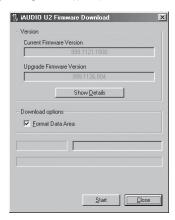
③ インストール先のパスとフォルダを指定します。

④ プログラムグループ名を指定します。

⑤ ファイルのコピーが進行します。

⑥ インストールが完了しました。「Finish」をクリックして終了して下さい。

⑦ Windowsの種類と状態によって、以下の図のように再起動をするかどうかを選択する画面が表示されます。もし該当メッセージが表示されたら再起動してください。

⑧ ファームウェアのアップグレードプログラムのインストールを終えてから、ダウンロードのファームウェアデータファイルを解凍してください。ファームウェアのデータは www.cowonjapan.com からダウンロードできます。Zipファイル形式で提供されるので、ダウンロードしてから解凍してください。

⑨ 解凍したファイルを C:\program files\cowon\iAUDIO U2フォルダ内にコピーしてください。

⑩ 場合によっては、次の図のように「このフォルダにコピーしようとしているファイルは既に存在します」という案内メッセージが表示されることがあります。ですが、無視して該当フォルダに上書きコピーまたは移動させてください。

⑪ コピーが終わったら、次にファームウェアのアップグレードプログラムを実行します。
スタート → プログラム → COWON → iAUDIO U2 Firmware → Firmware Downloadを実行します。

⑫ <注意> ファームウェアのアップグレード時、「Download option の Format Data Aria」に チェックすると、フラッシュメモリーの中に保存されている全てのデータが削除されます。従って iAUDIO U2に保存されている各種MP3ファイルや重要な録音MP3ファイルは必ず、ご使用のユーザーご自身がパソコンにバックアップしてください。また、ファームウェアのアップグレード中にUSBケーブルを取り外すと、機器の故障またはその他様々な誤動作が発生することがありますのでご注意ください。

⑬ 「Start」ボタンを押すと、ファームウェアのアップグレードが実行されます。

株式会社　コウォンジャパン サポートセンター
住所：〒113-0033東京都文京区本郷3-2-3TIKビル5階
サポートセンター：03-5805-6054(土日、
祝祭日を除く10：00~12：00、13：00~17：00）
ホームページ：www.cowonjapan.com